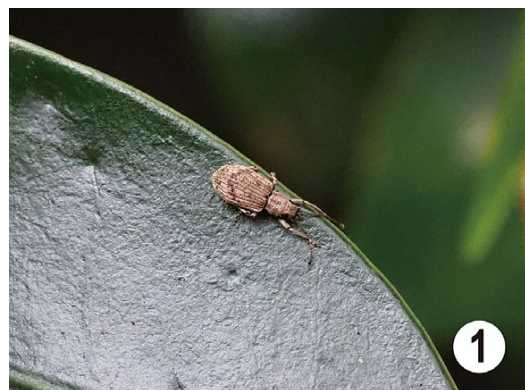


コク科(元はツバキ科)の他, クワ科, イラクサ科, バラ科などを成虫が食害する広食性のクチブトゾウムシ族の1種である(Kojima & Morimoto, 2006; 小島・藤澤, 2011). 本種は, 本来, 鹿児島以南の南西諸島に分布するが, おそらく苗木の運搬に伴い分布を拡大したと考えられ, 近年, 伊豆諸島や東京湾など関東地方でも確認されている(竹内ら, 2004; Kojima & Morimoto, 2006; 酒井・高桑, 2015).

筆者らは屋久島において, 本種を島内の比較的高地で, これまで加害樹種として記録のないヒメシヤラ *Stewartia monadelph* (ツバキ科) ならびに同島固有のヒメヒサカキ *Eurya yakushimensis* より採集しているので, 以下に報告する. さらに, 低地でサカキ *Cleyera japonica* (モッコク科) を食害している成虫を多数見かけたので, 合わせて報告する.

5 exs., 淀川登山口 (alt. 1,400 m), 4. VIII. 2019, 佐伯採集(ヒメシヤラ); 10 exs., 11. VIII. 2019, 小島採集(ヒメシヤラ); 8 exs., 淀川登山口~花之江河 (alt. 1,640 m), 12. VIII. 2019, 小島採集(ヒメヒサカキ); 多数成虫目撃, 益救神社, 9. VI. 2019, 小島(サカキ; Figs. 1-2).



Figs. 1-2. Adult habitus and feeding scars of *Oedophrys sakaguchii*. 1. An adult on leaf of *Cleyera japonica*; 2. Adult feeding scars on leaves of *C. japonica*.

ヒメシヤラは樹高 20 m 弱の高木で, 長竿を使ってその樹冠部から採集した.

なお本調査は, 屋久島国立公園特別保護地区の動物捕獲について, 九州地方環境事務所の許可(環九屋自許第 1907181 号)を得た上で実施した. また, 一部, 日本学術振興会科学研究費補助金(15K06937, 19K06790)の助成を受けて行われた.

引用文献

- 小島弘昭・藤澤佑典, 2011. 伊豆大島から新たに記録されるゾウムシ上科甲虫. さやばねニューシリーズ, (4): 9-11.
Kojima, H. & K. Morimoto, 2006. Tribe Cyphicerini. Pp. 139-233, 262-282. In Morimoto, K., H. Kojima, & S. Miyakawa (eds.). The Insects of Japan. 3. Curculionoidea: General Introduction and Curculionidae: Entiminae (Part 1). Phyllobiini, Polydrusini and Cyphicerini (Coleoptera). iv + 406 pp. Touka Shobo, Fukuoka.
酒井 香・高桑正敏, 2015. 東京港野鳥公園のハムシ・ゾウムシ類. 神奈川虫報, (186): 34-39.
竹内将俊・田村正人・飯島一浩, 2004. 桜をめぐる生きものたち. viii + 175 pp. 東京農大出版会.

(小島弘昭 243-0034 厚木市船子 1737

東京農業大学農学部昆虫学研究室)

(佐伯智哉 243-0034 厚木市船子 1737

東京農業大学農学部昆虫学研究室)

【訂正】さやばね 36 号掲載論文の誤同定

本誌 36 号に掲載された上手ら (2019)「阿嘉島および慶留間島で採集した水生甲虫類」において誤同定が発覚した. ここに訂正しお詫びしたい.

【誤】 p. 23, チビマルガムシ *Paracymus orientalis* d'Orchymont, 1925

1 ex., 慶留間 1, 15. III. 2019, 上手雄貴採集.

【正】 p. 23, ヒメマルガムシ属の一種 *Anacaena* sp.

1 ex., 慶留間 1, 15. III. 2019, 上手雄貴採集.

併せて, 慶留間島におけるチビマルガムシの記録を削除する. 今回の調査により慶留間島から 5 科 8 種を記録し, 過去の記録を含めると 5 科 9 種を記録したことになる.

引用文献

- 上手雄貴・青柳 克・上手奈美, 2019. 阿嘉島および慶留間島で採集した水生甲虫類. さやばねニューシリーズ, (36): 21-26.

(上手雄貴 名古屋市衛生研究所)